

女流講談会

なでしこくらぶ

毎月第3水曜日お江戸両国亭で開催

お問い合わせ先 リンクトゥモロー

03-5625-8081

なでしこ新聞

創刊号

2006年(平成18年)11月15日発行

唯一の「なでしこくらぶ」公認新聞

「なでしこ新聞」編集部

編集発行人: 真鍋 透

tmanabe@carrot.ocn.ne.jp

※許可のない引用、転載はお断りします。

なでしこくらぶのあゆみ

神田すみれ

平成16年8月18日、第1回「なでしこくらぶ」が開催されました。当時、第三水曜日の昼に前座勉強会という会を両国亭を借りてやっておりましたが、お客様が入らず、やっているメンバーにもやる気が見えず、やめようかと思いました。その中の女の子達から、是非続けて勉強したいという要望があり(私が女なので男の子は言いづらかったかも知れません)それじゃ女だけの会を作ってみようかということになりました。女の前座が4人でしたから、同じ神田ということで二つ目の織音さんに声をかけて手伝ってもらうことにしました。ゲストに姉弟子の翠月を頼んだり、鶴女お姉さんを頼んだり、貞寿さんの師匠ということで、男性ではありますが貞心先生を頼んだりしていました。そのうち企画物をやろうというので一邑ちゃんにもよく参加してもらい、こんなに出演するならメンバーになって加わってもらい、どんどん増えていきました。「なでしこくらぶ」という名前は、始めた頃に、ちまたで大人気だった「なでしこジャパン」の名にヒントを得ての命名です。私たちも大人気になって講談界の期待の星になろうというつもりでの命名でもありました。

何の意識も持たなかった前座、二つ目でしたが、一生懸命に勉強して、お客様にも「上手くなったね」と褒められ、段々と高座の面白さも感じられるように成長いたしました。平成17年10月には前座だった一凛ちゃんが二つ目に昇進。なでしこのみんなでお祝いをして、とてもアットホームな会になっていきました。

そんなみんなの気持ち伝わるのか、最初は10名以下だったお客様が、どんどん増えて「応援しているからね」「また来月も来るよ」なんて声をかけて下さる方も出て参りました。いろいろな方からいろいろな意見を頂戴して、平成18年2月から、もっとお客様に足を運んで頂くにはということで「なでしこ散歩案内」がスタートしました。また、平成18年5月からは「日本全国講談めぐり」の企画が始まりました。出演者の中からは、逆に「なでしこくらぶ」で全国を回りたいなんて希望も出たりします。

これからも、お客様からのいろいろな意見を聞いて、いろいろな企画を立てて楽しんで頂こうと思っております。どうぞ末長く応援お願い申し上げます。

<p>一期一会 なでしこ すみれ</p>	<p>一期一会 一邑</p>	<p>神の田に 織音</p>	<p>田嶋 一凛</p>
すみれ	一邑	織音	一凛
<p>梅の花 あやめ</p>	<p>鶴女 貞寿</p>	<p>宝井 琴</p>	<p>神田 すず</p>
あやめ	貞寿	琴柑	すず

なでしこ散歩案内

講談を聴く前に「なでしこくらぶ」の散歩ラリーに参加してみませんか？
木戸銭 3,000円(案内料、お弁当、お茶、「なでしこくらぶ」鑑賞料も含む)

◆お問い合わせ先◆

お江戸広小路亭 03-3833-1789

すみれ後援会事務局(リンクトゥモロー内) 03-5625-8081

日本全国講談めぐり

(2006年5月からの企画物!)

全国津々浦々を舞台に繰り広げられる講談を聞けば、
プチ旅行気分間違いなし!

ご当地出身の方もそうでない方も...

「ぜひ、よらんしょ〜(福島弁)」

「来やがれってんでえ〜(江戸弁)」

★「なでしこくらぶ」の今後の開催予定については、メンバーのホームページ(本誌最終面参照)をご覧ください。